



平成30年度 9月補正予算案

平成30年 8月24日
茨 城 県



《基本的な考え方》

早急な取組みが求められる喫緊の課題に、スピーディーに対応

県民の安心安全

県有施設における**ブロック塀の安全対策**、**県立高校へのエアコン設置**

産業の育成

宇宙ビジネス創出など**地方創生**の推進

社会資本の整備

道路、河川、土地改良などの**インフラ整備**

一般会計補正予算額 132億8,200万円

※前年度同時期の補正後予算額（一般会計）に対する伸び率 +0.5%



主な事業①－県民の安心安全を守る環境整備－



(百万円)

★県有施設における危険なブロック塀全ての安全対策を実施！

大阪府北部を震源とする地震を踏まえ、県立高校などの県有施設の塀の撤去・改修を実施
(県産木材の有効活用を図るため、一部の県立高校の塀に県産木材を活用)

新 県有施設におけるブロック塀の安全対策 1, 644

★県立高校の普通教室のエアコン設置率を100%に！

生徒の健康を守り、学習環境の改善を図るため、エアコン未設置校をゼロに

新 高等学校空調設備緊急整備事業 1, 082

現状： エアコン設置済の県立高校では、PTA等がエアコンを設置。
学校ごとに使用料(2,400円～10,800円/年(一部、特別教室分を含む))を徴収。



- ①全ての未設置校の普通教室に、県が、新たにエアコンを設置。
- ②PTA等が設置している普通教室のエアコンは、原則県が引き取り、管理。
- ③使用料を2,400円/年(普通教室分)とすることで、利用者の負担を原則軽減。

(注) 県有施設におけるブロック塀の安全対策の予算額は、企業会計を含む。



主な事業② – 本県の特性を活かした産業の育成・強化 –



(百万円)

★JAXAと連携し、宇宙ビジネスの一大拠点を形成！

宇宙産業の集積に向けた県独自の支援策や活性化の場づくりなどにより、宇宙関連ベンチャーが日本一活動しやすい環境を整備（機運醸成、体制構築、財政支援）

新 いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業 76

※8月27日（月）に、JAXA、内閣府、経済産業省と連携したプロジェクトの詳細を発表予定



写真提供：JAXA

★本県の内水面水産業の成長産業化を促進！

県水産試験場内水面支場の機能を強化し、魅力ある養殖産業創出の支援（チョウザメ、コイ等）や、本県の強みを活かした漁業の振興（ワカサギ、アユ等）を推進

新 水産試験場内水面支場研究機能強化事業 314





主な事業③ – 本県の実展を下支えする社会資本整備 –



(百万円)

★交通ネットワークの充実、通学路の安全対策などの基盤整備

- ① 国補公共事業 7, 140
(地方道路整備事業、治水直轄事業負担金、
土地改良事業等)
- ② 県単公共事業 1, 891
(通学路等安全対策事業、防災・減災対策事業等)
- ③ 道路工事基礎調査事業 380
(緊急輸送道路のボトルネック解消に必要な整備計画
策定等のための調査・設計)
※国道123号(仮称)御前山バイパス 等



(注) 国補公共事業の予算額は、企業会計を含む。